



学校だより

7月号

令和8年6月30日
横浜市立もえぎ野小学校
電話 973-4044



HPはこちら

心が動く、本物との出会い

校長 井上 智恵子



創立50周年の記念に植えた花壇のマリーゴールドの「50」の数字が大きく立派に育ってきました。また先日、伸びていた雑草をグリーンボランティア(もえぎ野ふれあいの樹林愛護会)の方々がきれいに抜いてくださったおかげで、一層オレンジ色や黄色の花が鮮やかに感じられます。

学校では、遠足や校外学習、社会科見学、宿泊体験学習などの行事が始まっております。5月には、2年生がズーラシア動物園遠足、6月には、6年生が東京見学(国会議事堂・科学技術館)、カーリング試合観戦、3年生が江ノ島水族館遠足、4年生が高尾宿泊体験学習に行きました。さらに7月には、6年生の日光修学旅行、5年生の西湖宿泊体験学習と続きます。このように、子どもたちが本物に出会える場所に出かけ、そこで本物と触れ合い、心を動かして感じるができる体験的な活動は、学校の中では得られない貴重な学びとなります。また、当日を迎えるまでには、それぞれの学年が充実した活動になるために目標を立てて、事前学習をしています。この当日までの準備期間の学びも成長につながります。

「楽しかった。」「感動した!」「迫力があった。」「グループの人と協力できた。」「時間を守って行動できた。」「〇〇がうまくできなかった。」など、行事実施後には振り返りを行い、子どもたちがそれぞれ味わった思いを価値づけることで、さらなる成長につなげていきます。ぜひ、お子様の帰宅後には、「今日の遠足(社会科見学、宿泊体験学習...)は、どうだった?」「どんなことが楽しかった?」と話題にして、心が動いたこと(感じたこと)の報告ができる時間を取っていただけると嬉しいです。

学年の活動の様子は、もえぎ野小学校ホームページに順次載せていきますので、ぜひそちらもご覧ください。(中ページにホームページのURLとQRコードを載せています)

《青葉区国際平和スピーチコンテスト》6月23日(火)、青葉公会堂にて行われました。

6年3組小島聡晟さんが本校代表として出場しました。スピーチの題名は「優しさの輪をつくるために」。ユニセフ募金の大切さや、世界には当たり前な生活が送れない人がいる現状について発表し、少額の募金でも命を守り、生活をよりよくする力になることを訴えました。一人一人の小さな募金が世界を変える一歩になるとみんなに呼びかけました。★学校では、今年度も計画委員児童を中心にユニセフ募金活動を行います。